

# 福島第一原子力発電所の状況

平成 24 年 1 月 14 日  
東京電力株式会社

## <タービン建屋地下のたまり水の処理>

高濃度の放射性物質を含むたまり水の処理設備及び貯蔵設備の状況

### [処理設備]

- ・H24/1/4 14:36 第二セシウム吸着装置を起動。14:48 定常流量に到達。
- ・H24/1/11 15:22 セシウム吸着装置を起動。15:30 定常流量に到達。

### [貯蔵設備]

- ・H23/6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。

## トレンチ立坑・各建屋地下のたまり水の移送状況

号機	排出元 移送先	移送状況
2号機	・2号機タービン建屋 集中廃棄物処理施設[プロセス主建屋、 雑固体廃棄物減容処理建屋(高温焼却炉建屋)]	・1/12 21:55～1/13 7:58 移送実施 ・1/13 14:46～1/14 8:07 移送実施
3号機	・3号機タービン建屋 集中廃棄物処理施設[プロセス主建屋、 雑固体廃棄物減容処理建屋(高温焼却炉建屋)]	・1/12 21:59～1/13 8:03 移送実施 ・1/13 14:54～1/14 8:11 移送実施
6号機	・6号機タービン建屋 仮設タンク	・1/12 移送なし

移送先	移送先の水位状況 (1/14 7:00 時点)
プロセス主建屋	水位: O.P.+ 4,436 mm(水位上昇累計:5,653 mm) 1/13 7:00 から 96mm 上昇
雑固体廃棄物減容処理建屋 (高温焼却炉建屋)	水位: O.P.+ 3,041 mm(水位上昇累計:3,767 mm) 1/13 7:00 から 198mm 上昇

## トレンチ立坑・タービン建屋・原子炉建屋の水位 (1/14 7:00 時点)

	トレンチ立坑	タービン建屋	原子炉建屋
1号機	O.P.+ 850 mm (1/13 7:00 と同じ)	O.P.+ 3,183 mm (1/13 7:00 から 18 mm 上昇)	O.P.+ 4,195 mm (1/13 7:00 から 3mm 下降)
2号機	O.P.+ 2,950 mm (1/13 7:00 から 44 mm 下降)	O.P.+ 2,940 mm (1/13 7:00 から 42 mm 下降)	O.P.+ 3,102 mm (1/13 7:00 から 38 mm 下降)
3号機	O.P.+ 3,123 mm (1/13 7:00 から 19 mm 下降)	O.P.+ 3,039 mm (1/13 7:00 から 33 mm 下降)	O.P.+ 3,318 mm (1/13 7:00 から 36 mm 下降)
4号機	-	O.P.+ 3,077 mm (1/13 7:00 から 11 mm 下降)	O.P.+ 3,091 mm (1/13 7:00 から 17 mm 下降)

## <放射性物質のモニタリング>

### 海水核種分析結果(参考値)

採取場所	採取日	採取時間	濃度限度比(倍)		
			ヨウ素-131	セシウム-134	セシウム-137
福島第一 5,6号機放水口北側約 30m	1/13	8:50	ND	0.08	0.07
福島第一 1～4号機放水口南側約 330m	1/13	8:30	ND	0.03	0.02
福島第二 3,4号機放水口付近	1/13	8:35	ND	0.02	0.01

・その他福島県沿岸1地点(1/13 採取分)における主要3核種(ヨウ素-131、セシウム-134,137)は全てND。

### < 使用済燃料プールの冷却 > (1/14 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	12.0
2号機	循環冷却システム	運転中	13.0
3号機	循環冷却システム	運転中	13.5
4号機	循環冷却システム	運転中	21

[3号機]・H24/1/12 9:35～16:46 使用済燃料プールに放射性物質除去装置を設置するため、使用済燃料プール代替冷却システムによるプール水の冷却を停止。

(使用済燃料プール温度 停止時:約 12.7 再開後:13.1 )。

・H24/1/14 15:18～ 使用済燃料プールの放射性物質除去のため、放射性物質除去装置の運転を開始。

[4号機]・H23/11/29～ 使用済燃料プールの塩分除去のため、イオン交換装置の運転を開始。

### < 原子炉压力容器への注水・原子炉の状況 > (1/14 11:00 時点)

号機	注水状況	給水ノズル温度	原子炉压力容器下部温度	原子炉格納容器圧力
1号機	淡水注入中 (給水系:約 4.3m <sup>3</sup> /h, 炉心スプレイ系:約 1.8 m <sup>3</sup> /h)	24.9	25.3	106.0 kPaabs
2号機	淡水注入中 (給水系:約 2.8 m <sup>3</sup> /h, 炉心スプレイ系:約 7.0m <sup>3</sup> /h)	47.3	48.7	109 kPaabs
3号機	淡水注入中 (給水系:約 2.0 m <sup>3</sup> /h, 炉心スプレイ系:約 7.1 m <sup>3</sup> /h)	45.0	54.4	101.6 kPaabs

[2号機]・H24/1/13 11:20 原子炉への注水量の変動が確認されたため、給水系からの注水量を約 2.5m<sup>3</sup>/hから約 3.0m<sup>3</sup>/h、炉心スプレイ系からの注水量を約 7.2m<sup>3</sup>/hから約 7.0m<sup>3</sup>/hに調整、

[3号機]・H24/1/13 11:13 注水配管切替を完了し、給水系からの注水量を約 0.5m<sup>3</sup>/hから約 2.0m<sup>3</sup>/h、炉心スプレイ系からの注水量を約 8.3m<sup>3</sup>/hから約 7.0m<sup>3</sup>/hに調整。

[4号機][5号機][6号機]・特に変化なし

### < その他 >

・H23/10/7～ 伐採木の自然発火防止や粉塵の飛散防止を目的として、5、6号機滞留水浄化の水を利用し、散水を継続実施中。

・H24/1/11～ 集中廃棄物処理施設のプロセス主建屋と雑固体廃棄物減容処理建屋(高温焼却炉建屋)間のトレンチにおける放射性物質を含む水溜まりの発見(H23/12/18)を受け、発電所構内のその他のトレンチ等の点検を開始。日々の点検結果については別途参考配布資料を参照

・H24/1/14 13:40 頃 1号機トレンチ立坑から集中廃棄物処理施設への移送ラインにおいて、通水確認運転を行っていたところ、ホースのピンホール2箇所より微量の水漏れを確認したことからポンプを止めたことで漏えいは停止。サンプリングの結果、ヨウ素 131 が検出限界未満、セシウム 134 が  $1.8 \times 10^{-1}$  (Bq/cm<sup>3</sup>)、セシウム 137 が  $2.0 \times 10^{-1}$  (Bq/cm<sup>3</sup>) であり、海水と雨水が混ざったものと推定。漏えい箇所はビニールにて養生を実施。

以上